



設定に関するクイック リファレンス

コマンド一覧や、Cisco UCS E シリーズ サーバ (E シリーズ サーバ) の簡単なセットアップ手順や使用手順だけを必要とする場合は、この設定に関するクイック リファレンスの章を参照してください。個々の設定手順に関する詳細については、以降の章で説明します。



(注)

オペレーティングシステムまたはハイパーバイザが事前にインストールされていないオプション1-E シリーズ サーバを購入した場合、この設定に関するクイック リファレンスの章を参照してください。オプション2 (Microsoft Windows Server が事前にインストールされている E シリーズ サーバ) またはオプション3 (VMware vSphere Hypervisor™ が事前にインストールされている E シリーズ サーバ) を購入した場合、設定手順が一部異なります。

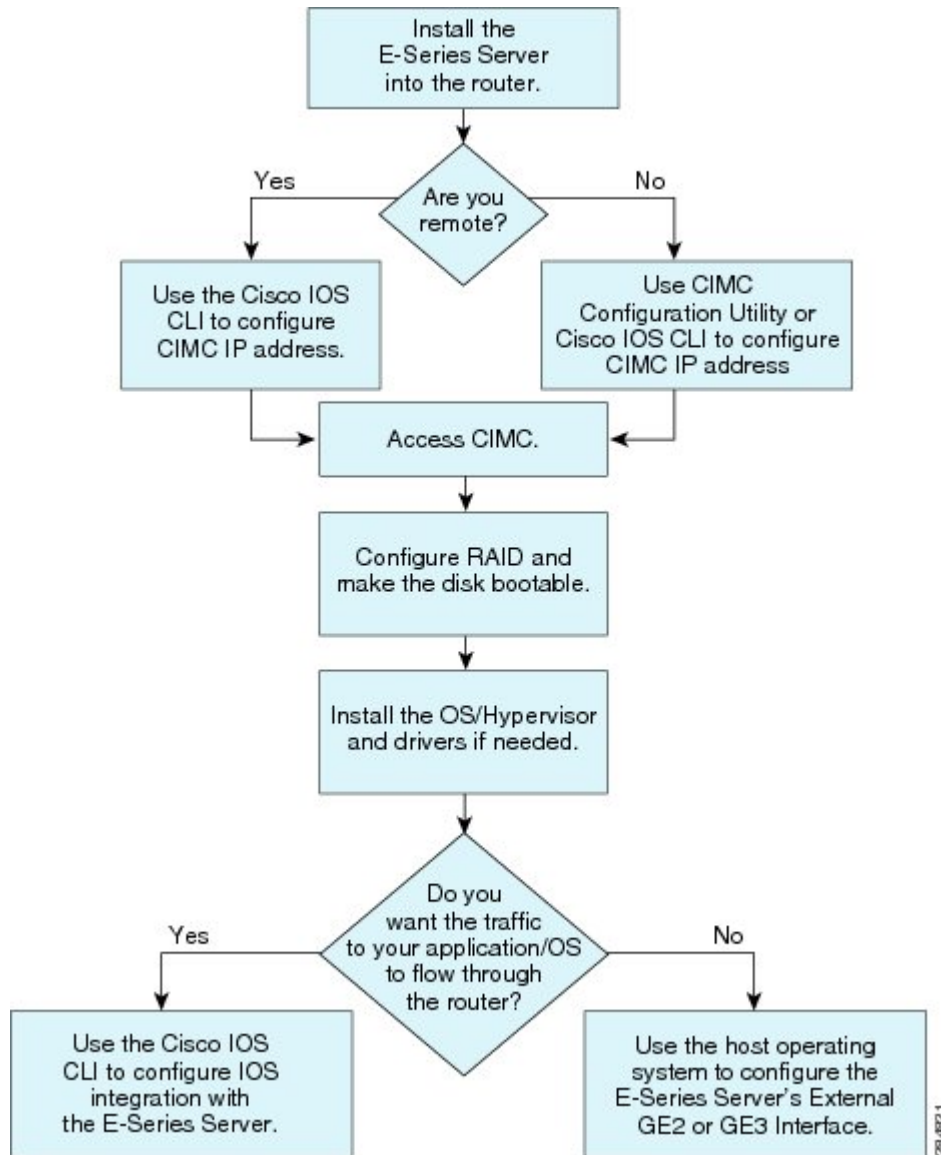
この章は、次の内容で構成されています。

- [設定に関するクイック リファレンス タスク, 2 ページ](#)

設定に関するクイック リファレンス タスク

次の図は、オペレーティングシステムまたはハイパーバイザが事前にインストールされていないオプション 1 - E シリーズ サーバの基本的なワークフローを示しています。

図 1: 基本的なワークフロー - オプション 1



手順

-
- ステップ 1** E シリーズ サーバをルータにインストールします。
- ステップ 2** CIMC アクセス用の CIMC IP アドレスを設定します。 次のいずれかの方法を使用します。
- リモート ユーザの場合、Cisco IOS CLI を使用して CIMC アクセスを設定します。 次のコマンドを入力します。
 - ローカル ユーザの場合、次のいずれかの方法を使用します。
 - キーボードとモニタを E シリーズ サーバの前面パネルに接続し、CIMC Configuration Utility を使用して CIMC アクセスを設定します。「[CIMC 設定ユーティリティによる CIMC アクセスの設定](#)」を参照してください。
 - Cisco IOS CLI を使用して CIMC アクセスを設定します（前述したリモート ユーザの設定を参照してください）。
- ステップ 3** Web ブラウザで、CIMC にアクセスするためにステップ 2 で設定した IP アドレスを入力します。
- ステップ 4** RAID を設定し、ディスク ドライブをブート可能にします。「[RAID の管理](#)」を参照してください。
- ステップ 5** オペレーティングシステムまたはハイパーバイザをインストールし、必要に応じてドライバをインストールします。「[オペレーティングシステムのインストール](#)」を参照してください。
- ステップ 6** 次のいずれかを実行します。
- アプリケーションまたはオペレーティングシステムに対するトラフィックをルータ経由にしない場合、サーバのホスト オペレーティングシステムを使用して E シリーズ サーバの外部 GE2 または GE3 インターフェイスを設定します。
 - アプリケーションまたはオペレーティングシステムに対するトラフィックをルータ経由にする場合、Cisco IOS CLI を使用して、ルータと E シリーズサーバ間の内部接続を設定します。「[ルータと E シリーズサーバ間の接続の設定](#)」を参照してください。
-

